

## 第1章 ビジョン策定にあたり

### 1.1 白山市水道事業ビジョン策定の趣旨

白山市の水道は、市営上水道事業のほか、市営簡易水道 19 事業、組合営簡易水道 52 事業、水道事業以外の小規模水道として市営施設 13 施設、組合営施設 56 施設が存在し、これらの水道施設により地域住民に安全で安定した水道水を供給しており、市民生活や経済活動に不可欠な社会基盤となっています。

一方、本市水道事業として、平成 21 年 3 月に「白山の恵みの水を未来まで」の基本理念のもと「白山市長期水道ビジョン」を策定し、将来につながる事業運営を行ってきました。

このような中、厚生労働省は平成 25 年 3 月に「新水道ビジョン」を策定・公表しました。これは、人口減少時代への突入や東日本大震災の経験など、水道をとりまく経営環境が大きく変化してきたことから、これらの変化に対応し、50 年後、100 年後の将来を見据え、水道の理想像を「安全」「強靱」「持続」の観点から明示するとともに、その理想像を具現化するため、今後、取り組むべき事項や方策、関係者の役割分担を提示しています。

また、白山市長期水道ビジョンの策定から 9 年が経過し、組合営水道の公営化の推進や水道施設の耐震化、危機管理対策の強化、健全経営の推進等、新たな課題に対する計画的な事業運営の必要性が高まってきていることから、長期的な視野に立った取組の方向性や今後中長期に進めていく具体的な取組を示す『白山市水道事業ビジョン』を策定しました。

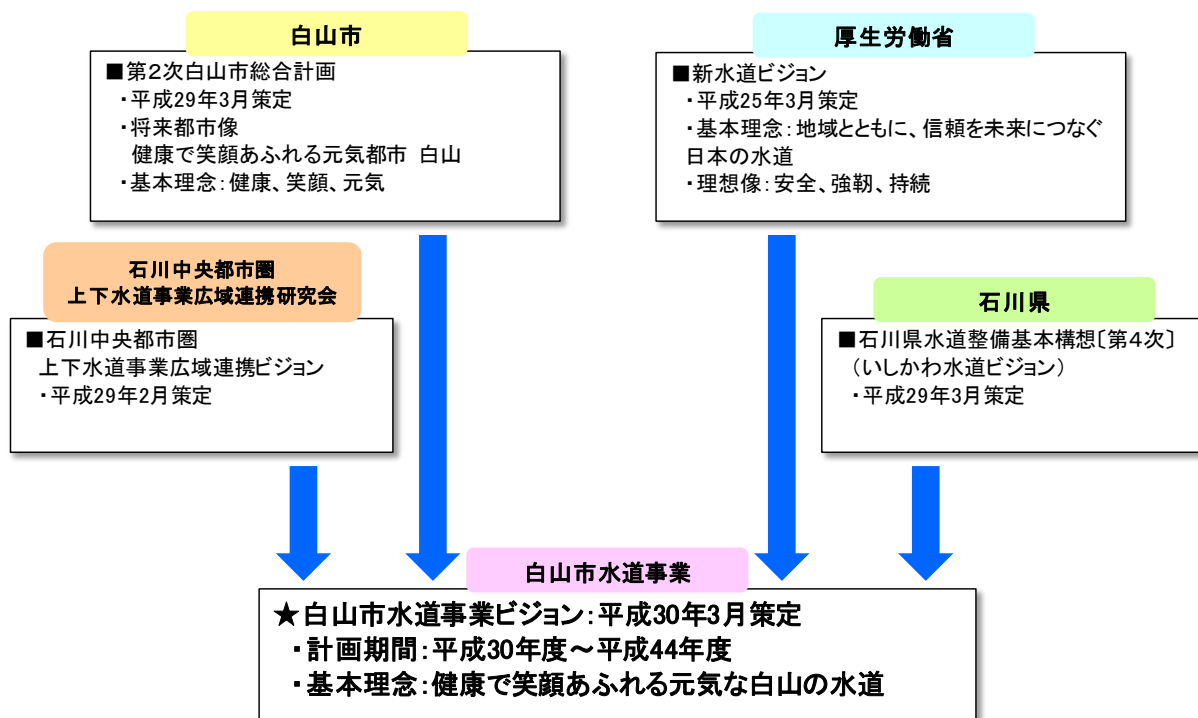


【扇状地から白山を望む】

## 1.2 ビジョンの位置付けと計画期間

『白山市水道事業ビジョン』の位置付けは、市の上位計画である「第2次白山市総合計画」及び厚生労働省が平成25年3月に策定した「新水道ビジョン」と整合を図りながら、石川県が策定した都道府県水道ビジョンである「石川県水道整備基本構想〔第4次〕（いしかわ水道ビジョン）」や石川中央都市圏上下水道事業広域連携研究会が策定した「石川中央都市圏上下水道事業広域連携ビジョン」との調整を図っていくものです。

本ビジョンの目標年度は平成44年度とし、計画期間は平成30年度～平成44年度の15年間とします。



図：白山市水道事業ビジョンの位置付け

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	...
【厚生労働省】 水道ビジョン	水道ビジョン										新水道ビジョン																				
【白山市】 白山市総合計画	第1次白山市総合計画										第2次白山市総合計画																				
白山市 水道事業ビジョン	白山市長期水道ビジョン(H21～H30)										白山市水道事業ビジョン(H30～H44)																				

図：上位計画と白山市水道事業ビジョンの計画期間